

税

中学生の入賞作品紹介

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が中学生を対象に募集した「税についての作文」入選作品の中から、県内税務署が推薦した優秀作品を紹介しします。
(月曜日掲載予定)

「このお米、美味しい!」

私は夕食を食べながら思わず呟いた。隣に座っていた父も満足そうに、「やっぱり青森の米は美味いなあ」と一言。青森?この辺りに

は、青森のお米はあまり売っていないはずだ。不思議に思い、私はその事を父に訪ねた。すると、父は「ふるさと納税」という制度ができてから、故郷の青森に毎年寄付をしており、このお米はその返礼品だそう。ふるさと納税か…。喜ぶ父を尻目に、私はその制度を改めて調べる事にした。

◆国税局長賞

船橋市立行田中学校2年

葛西 未来



ふるさと納税とは、納税というよりは寄付である。寄付先を決めて寄付の申告をする。所得税や住民税などの税の控除が可能になる。また、今回のような返

人々の未来をつくる税

さと納税は「税」から連想される負のイメージをなくし、寄付する人と自治体の両者にとってもプラスになる、とても画期的な制度なのである。

礼品がもらえる事もある便利な制度だ。そして、寄付されたお金は自治体によって、その地域の活性化や都市機能の発達など、人が暮らしやすい環境づくりにつながられる。つまり、ふる

また、自分のふるさとや返礼品で選ぶだけでなく、応援すべき地域がある。それが被災地だ。昨年七月、西日本を中心に豪雨が発生し、それによる川の氾濫や建物の破壊、

人的被害などが生じた。被害にあった人々は避難指示を聞きながら、不安と恐怖でいっぱいだっただろう。

ふるさと納税のサイト

「ふるさとチョイス災害支援」は、この災害が発生してからわずか二時間で支援ページを開設。このページに寄付するには手続きなどが不要なく、誰でも簡単に寄付ができる。その迅速な対応と簡単な制度により、支援ページには三日で三千万円以上の寄付金が集まったのである。

私は家族と相談し、この制度を利用して被災地を支援する事を決めた。災害が一度起こってしまつと、完全な復旧はとても難しく、ときには長い年月を要する。なので、ふるさと納税

めただけではなく、人々の豊かな暮らしを取り戻すための一歩として、寄付をする事も大切なのである。

夕食に食べたお米から、ふるさと納税を通じて、人々の暮らしや安全をつくる税について知る事ができた。自分のふるさとや思いの土地、そして被災地など、応援したい地域を自分で選ぶことができる。それがふるさと納税の一番の魅力だと私は思う。将来、納税ができるようになったら、この制度を使って自分の意志で納税する地域を選びたい。そして、その税が地域だけでなく、これからの日本をつくる事につながると思う。

※2021年に書かれた作文です。

統合地方版



皆さまからの情報をお待ちしております。
E-mail c-nippo@chibanippo.co.jp

編集局

TEL 043(222)9215
FAX 043(224)7001

総務局

TEL 043(222)9211
FAX 043(227)2094

販売局

TEL 043(227)0077
FAX 043(225)8241

クロスメディア局

TEL 043(227)0055
FAX 043(222)6540

●記事に関するお問い合わせ
043(222)9215

●購読のお申し込み
0120(16)7828